

【分配金のお知らせ】

2015年11月26日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2015年11月25日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の2015年11月25日決算の分配金を以下の通り決定しましたので、ご案内いたします。

今回の決算につきまして、米国ハイ・イールド債市場および新興国通貨の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「ブラジルリアルコース」の分配金を110円から80円に引き下げることといたしました。

一方、その他のコースにつきましては、前回決算の分配金額からの変更はございません。

「ブラジルリアルコース」の分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

ファンド (毎月分配型)	円コース	豪ドルコース	ニュージーランド ドルコース	ブラジル リアルコース	南アフリカ ランドコース	メキシコ ペソコース
分配金額	50円	90円	160円	80円	90円	150円
(前回決算)	(50円)	(90円)	(160円)	(110円)	(90円)	(150円)
決算日の基準価額	9,028円	11,273円	10,295円	5,547円	5,872円	8,394円
決算日の基準価額 (分配金再投資)	14,597円	19,496円	20,758円	15,258円	14,780円	18,907円
(前回決算)	(14,944円)	(19,661円)	(21,597円)	(14,597円)	(15,281円)	(19,011円)
分配金額設定来累計	5,060円	6,660円	8,200円	8,950円	7,920円	8,500円

* 設定日: 2009年9月9日、前回決算: 2015年10月26日

* 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。

なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【分配金引き下げの背景】

今回の分配金につきまして、米国ハイ・イールド債市場および新興国通貨の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の1万口当たりの分配金(課税前)を110円から80円に引き下げました。

当コースの基準価額は、2015年2月頃より軟調な動きとなり、特に同年7月半ば以降は米国ハイ・イールド債やブラジルリアル(対円)の為替レートなどの投資環境(後述)を背景に下げ足を速めました。2015年11月25日現在、基準価額は5,547円となり、年初来の騰落率は-32.6%、基準価額(分配金再投資)の騰落率は-19.3%でした。

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」基準価額の推移 期間:2009年9月9日(設定日)~2015年11月25日、日次



2015年11月25日現在

基準価額(分配金再投資)	15,258円
基準価額	5,547円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定日より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

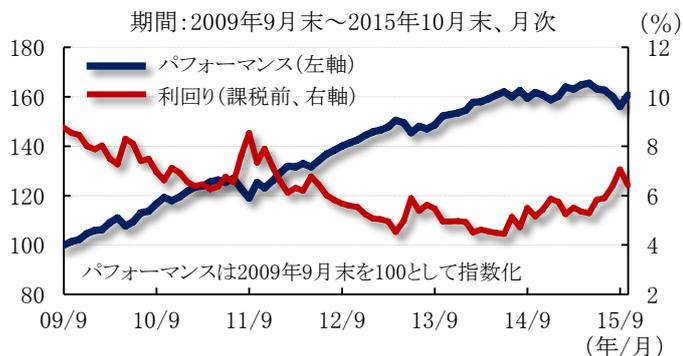
上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国ハイ・イールド債の動き

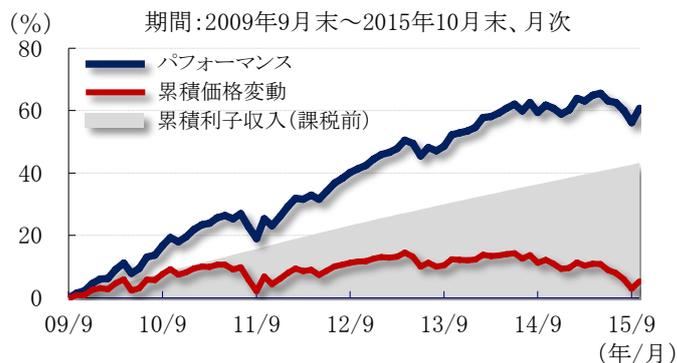
ファンドが設定された2009年9月9日の同月末以降、米国ハイ・イールド債のパフォーマンスは高い利子収入による下支えもあり、概ね堅調に推移してきました。しかし、足元の2015年後半は米国の利上げ懸念や原油価格下落などを背景に下落しました。

米国ハイ・イールド企業の業績・財務は改善基調が目立ち、デフォルト(債務不履行)率も低水準で推移しています。また、借入コストの低下と業績安定化の中で支払利息に対する支払い能力が過去最高の状態であるなど、米国ハイ・イールド債を取り巻く環境は概ね良好であると考えられます。

米国ハイ・イールド債(BB~B格)のパフォーマンスと利回りの推移



米国ハイ・イールド債(BB~B格)のパフォーマンスの内訳



米国ハイ・イールド債(BB~B格): BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトイード・コンストレインド・インデックス、米ドル建て

上グラフの「パフォーマンスの内訳」は「累積利子収入」と「累積価格変動」からなり、「パフォーマンス」の変動要因を示したものです。各内訳は、2009年9月末を起点に米国ハイ・イールド債指数の月間変化率を利子収入と価格変動に分解し、それぞれを月次ベースで累積したものです。複数期間の「パフォーマンスの内訳」を累積する過程で差異が生じる為、「累積利子収入」と「累積価格変動」を足し合わせたものは、「パフォーマンス」にはなりません。

(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

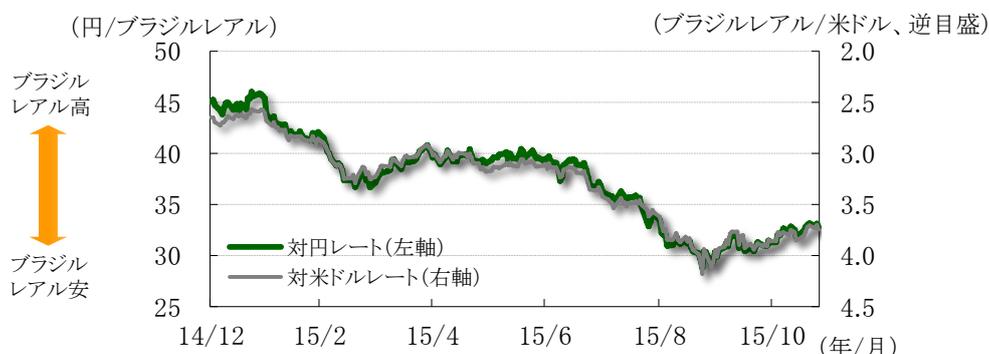
BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトイード・コンストレインド・インデックスは、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

ブラジルレアルの下落について

ブラジルレアルは、2015年2月に国営石油公社ペトロブラスに関連する汚職疑惑が発覚して以降、ルセフ政権運営に関する不透明感が増したことから下落基調となりました。一旦は持ち直す場面もありましたが、同年7月半ばから9月下旬にかけて、再び下落基調で推移しました。同年10月以降は世界的な新興国市場の反発を受け上昇基調で推移していますが、前月までの下落分を取り戻すには至っていません。ブラジルレアル下落の背景としては、以下のような要因があげられます。

- ・ブラジル政府が、景気低迷に伴う歳入の減少から7月、8月にプライマリーバランス(基礎的財政収支)黒字目標の下方修正を行ない、これを契機として、政府が進めている財政再建に対するの疑念が高まり、格下げリスクが顕在化したこと(2015年9月9日にS&P社は格下げを発表)
- ・汚職や国内景気の低迷を受けて、大統領の支持率が低下し、与党内の政治的対立が深刻化したことで、大統領の弾劾や財務相の辞任などの懸念が高まったこと
- ・米国の金融政策の正常化、資源価格の下落、中国を巡る不透明感の高まり(景気、株価、為替)等の外的要因を背景に新興国からの資本流出が続いたこと

ブラジルレアルの為替レート 期間:2014年12月31日～2015年11月25日、日次



(出所)ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

ブラジル国内では、引き続き政治的な不透明感が一層高まる可能性があります。一方、現在の政策金利は他の主要国と比較して高い水準(11月25日現在14.25%)にあり、ブラジルレアルの価値を下支えすることが期待できます。また、中長期的には財政健全化を推進することで投資家からの信頼を回復することも期待でき、再び以前のような成長軌道に戻る可能性もあります。物価上昇率の格差や貿易ウェイトを考慮した実質実効為替レートでみると、リーマンショックを受けて世界的なリスク回避姿勢が強まった2008年12月の水準を下回っています。また、現在の為替レートは歴史的に見ても低い水準であり、中長期的には再びブラジルレアル高となる期待が高まりつつある状況と考えます。

ブラジルレアルの実質実効為替レート

期間:2000年12月～2015年9月、月平均値



ブラジルレアルの為替レート

期間:2000年12月末～2015年10月末、月次



(出所)国際決済銀行、ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

《ファンドの特色》

- 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる6つのコース(円コース、豪ドルコース、ニュージーランドドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、メキシコペソコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))およびマネープールファンド(年2回決算型)の13本のファンドから構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く6つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆ 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
 - ◆ 米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
*「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネーポートフォリオマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 円建ての外国投資信託「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド*」および国内投資信託「野村マネーポートフォリオマザーファンド」を投資対象とします。
*「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドA」および「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンドB」を総称して「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」といいます。
 - ・「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」には、為替取引手法の異なる6つのクラスがあります。

各コース	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
豪ドルコース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ニュージーランドドルコース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ニュージーランドドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルリアルコース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。
南アフリカランドコース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行ないます。
メキシコペソコース(毎月分配型) / (年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行ないます。

- ◆ 通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資を中心としますが、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
*通常の状況においては、「PIMCO USハイ・イールド・ストラテジー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆ 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- ◆ 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
 - ◆ 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
 - ◆ 円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
*「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネーポートフォリオマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆ 「野村マネーポートフォリオマザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
 - ◆ ファンドは「野村マネーポートフォリオマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針
 - ◆ 毎月分配型：原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年2月および8月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
*「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。
 - ◆ 年2回決算型：原則、毎年2月および8月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《分配金に関する留意点》 ● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。● 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

《投資リスク》

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年8月26日まで(平成21年9月9日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、2月および8月の25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
なお、「マネープールファンド」は、「年2回決算型」の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 【マネープールファンド】
ご換金申込日の翌営業日の基準価額
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所
・ブラジル商品先物取引所(ブラジルリアルコースのみ)
・サンパウロの銀行(ブラジルリアルコースのみ)
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2015年11月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年1.6524%(税抜年1.53%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成27年11月13日現在年0.0216%(税抜年0.02%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人金融先物取引業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★
http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★
http://www.nomura-am.co.jp/mobile/